

CNA レポート・ジャパン

Conferencing News & Analysis, Report on Japan market - CNAReportJapan

創刊：1999年12月
発行日：毎月15日・月末
PDFによる発行

オンライン会議システム市場専門トレンドワッチ

Vol. 28 No.5 2026年3月15日

製品・サービス動向-国内

■ さつき：会議準備のタイムロスゼロへ。 ワイヤレス Web 会議システム「Connect Pro+」を発売

(PRTIMES:3月2日)

さつき株式会社 (<https://www.satsuki.co.jp/>) (大阪市中央区) は、配線や社内ネットワークへの接続設定が不要なワイヤレスシェアードデバイス「Connect Pro+(コネクトプラス)」を3月1日より発売した。



Connect Pro+ (さつき)

Connect Pro+は、送信機を PC 等のデバイスに接続し、受信機を「MIRAI TOUCH Biz」をはじめとする電子黒板や大型モニター、Web カメラ、マイクなどと接続するだけで、即座に Web 会議や画面共有を開始できるシステム。

ワンクリックで接続が完了するため、企業の会議室はもちろん、教育機関での授業や、営業先でのプレゼンテーションなどスピード感が求められる幅広いシーンで活躍する。

選ばれる理由としては以下の通り。(1) ワンクリッ

クで瞬間接続：PC 等のデバイスに送信機を接続し、ボタンを押すだけで接続完了する。複雑な配線や社内 Wi-Fi への接続設定は一切不要となっている。独自の無線伝送によりオフライン環境下でのミラーリングも可能となっている。(2) プロクオリティの高精細 4K 表示：無線接続ながら、4K 高画質の圧倒的な描写力を実現。細かな文字や図面、動画コンテンツも鮮明に映し出す。(3) 双方向のタッチ操作に対応：モニター(受信側)で行ったタッチ操作を手元のデバイスへ瞬時に反映。大画面の前でプレゼンを行いながら、スムーズな操作が可能となっている。(4) 周辺機器もワイヤレスで共有(BYOM 対応)：受信機側に接続した Web カメラやマイクを、ワイヤレスで PC から利用可能。Web 会議の準備にかかる手間を大幅に削減することが可能。(5) 最大 9 画面の同時分割表示：最大 9 つの画面を同時に投影できるため、比較検討が必要な会議や複数の資料を並べて行う議論を効率化する。(6) マルチ OS・マルチデバイス対応：Windows、macOS、iOS、Android など。

Connect Pro+は、Web 会議や教育現場・オンライン授業、営業活動・プレゼンテーションなどでの活用シーンがあるという。

さつき株式会社は、1931年に創業。現在、「環境ソリューション事業」「ITソリューション事業」「家電・機器部品事業」の3事業を展開している。その中で、日本の教育課題の解決に対してさまざまな視点からアプローチしているのが IT ソリューション事業。学校や学習塾など幅広い教育の現場で活用できる、操作性と機能性を備えた電子黒板「MIRAI TOUCH」は全国の教育現場で導入されるなど高いシェアを誇り、教育現場の DX 化を推進している。また、企業向け DX 推進を支援する「MIRAI TOUCH Biz」では、ビジネスシー

ンの効率化を実現し、企業の経営支援をサポートしている。支援企業数は300社を突破(2025年10月時点)。デジタルサイネージ事業も展開しており、情報発信の新たな可能性を常に追求しているという。

■ZVC JAPAN: Zoom の新たなエージェント型 AI 機能が集中力と生産性を向上

(PRTIMES:2月26日)

Zoom Communications, Inc.

(<https://www.zoom.com/ja>) (米国・カリフォルニア

州、日本法人:ZVC JAPAN 株式会社)は、「My notes」および「Personal workflows」(現在ベータ版を提供中、一般提供は今月後半を予定)を含む強力なエージェント型 AI 機能を発表した。

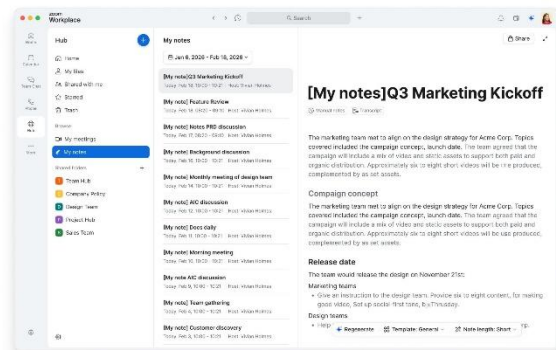
これにより、従来の受動的なサポートから、プロアクティブなインテリジェンスへと転換する。Zoom AI Companion は、最新機能によりあらゆるワークフローで文脈の理解とカスタマイズ性が向上し、単なるタスク支援にとどまらず、ユーザーのニーズを先回りして予測し、複雑なワークフローを自動化することで、チームの働き方やコラボレーション、目標達成の方法を変革するために設計されている。これらに新機能は、有料版の Zoom Workplace アカウント、または AI Companion の単体プランに含まれる。加えて無料プランを利用のユーザーも、月間利用上限の範囲内で本機能を試すことができる。

My notes

My notes は、Zoom Meetings、対面ミーティング、さらには「Microsoft Teams」や「Google Meet」などのサードパーティ製プラットフォームでのミーティングにおいて個人専用のノートテイカーとして機能し、共有された内容をリアルタイムで記録・補完する。AI Companion が重要なポイントを記録するため、ユーザーは会話に集中できる。ユーザーは簡単なメモや個人的な所感を書き留めることもでき、AI Companion がミーティングの振り返りを補完する。会話の流れを妨

げることなく、パーソナライズされた有益な要点を提供する。

対面でのミーティング向けに設計されたモバイルクライアントの音声レコーダーは、AI Companion の要約機能をバーチャルミーティングの枠を超えて拡張し、コラボレーションが行われるあらゆる場で重要なインサイトを記録・活用できるようにする。



My notes イメージ (ZVC JAPAN)

さらに、Zoom Hub では、Zoom Meetings、Google Meet、Microsoft Teams のいずれで開催されたミーティングでも、プラットフォームを切り替えることなく、ミーティングのメモを一か所で簡単に確認できるようになっている。

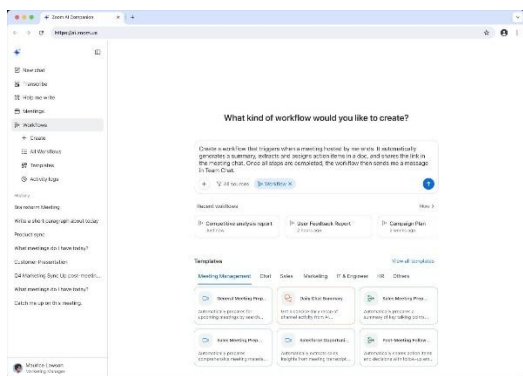
なお、Web 上での作業を好むユーザーは「Transcribe」を使ったウェブブラウザ経由の対面ミーティングでも、これらの機能を利用できるようになる。(今月後半提供予定)

Personal Workflows

繰り返しの作業は、仕事の勢いを鈍らせ、重要な成果につながる作業への集中を妨げる。この Personal Workflow は、ユーザーが状況を把握しつつ、日常の作業をシームレスに自動化できるよう支援し、チームが成果に直結する優先事項に集中できるようにする。

「ミーティング後にフォローアップメッセージを送る。」「チームに最新情報を共有する。」といった希望のワークフローを自然言語で指示すると、AI Companion が自動でプロセスを構築・実行する。たとえば、営業チームであれば「クライアントとの通話後、主要な論点をまとめたフォローアップメールを自動生成し、30分以内に送信する」といった設定が可能と

なっている。Personal Workflows は設定、カスタマイズ、実行を容易にし、チーム全体で作業を効率的かつ一貫して進められるようサポートする。



My Personal Workflows(ZVC JAPAN)

役割別のテンプレートと自然言語生成で設計された Personal Workflows は、従来の設定プロセスの複雑さを解消する。自動化は簡単に作成・調整でき、例えばタスクのリマインダーを自動生成するワークフローを設定することで、チームは作業を止めることなく、プロジェクトの進捗を常に把握できるようになる。

導入利用動向-国内

■ZVC JAPAN: 奈良市、次世代クラウド電話「Zoom Phone」を AI 活用型コールセンターと連携し電話対応を刷新、全国自治体初となる

(2月10日)

ZVC JAPAN 株式会社 (<https://www.zoom.com/ja>) (東京都千代田区) は、奈良市 (<https://www.city.nara.lg.jp/>) (奈良県奈良市) が、3月16日より、本庁舎内・コールセンター電話においてクラウド PBX「Zoom Phone」の全面稼働を開始すると発表。

奈良市コールセンターでは、年間約14万件の電話問い合わせを受信。そのうち約3割は回答できているものの、約7割は職員へ転送し対応(令和6年)していたが、同市では、これまでコールセンター業務を含めた電話対応業務の見直しを検討しさまざまな取り組みを進めてきた。本年度(令和8年度)、電話交換機

のデジタル化(スマホ化含む)とAIによる自動応答を備えた新コールセンターの構築・運営業務を調達し、そのプラットフォーム(基盤)にZoom社の製品を採用した。これを受けて、令和8年2月10日にZVC JAPANと「音声コミュニケーション及びAI活用事業に関する協定」を締結。

全面稼働開始により、最新AIによる通話のデータ化および分析を行う。AIによる「文字起こし」「通話要約」機能を導入し、メモ作成・伝言の負担軽減と情報共有を迅速化する。また、令和8年秋以降、コールセンターで「Zoom Virtual Agent」による問い合わせ自動応答を開始予定。将来的には市民を待たせない「ワンストップ対応」を実現し、「デジタル化の最後の砦」である電話業務を刷新する。

なお、自治体においてZoom Phone、Zoom Contact Center、Zoom Virtual Agentを統合導入し、職員の負担軽減と市民サービスの向上を図る取り組みは日本初の事例となる。

セミナー・展示会情報

<国内>

■Neat ウェビナー【Google Meet 対応と Neat Pulse 新機能】

日時: 3月19日(木) 16:00~

会場: オンライン

主催: Neatframe 株式会社

詳細・申込:

<https://event.on24.com/wcc/r/5270109/9258A3C9FF578A424D90C93C279D993C>

■Zoom Experience Day2026~Beyond Meetings ビデオ会議の先へ~

日時: 4月14日(火)

会場: TAKANAWA GATEWAY Convention Center

主催: ZVC JAPAN 株式会社

詳細・申込:

https://events.zoom.us/ev/Ap_w0QZKiyj9bvv3LzZT7VDX P6yBS4bMul1no-DBui_WV5JcHLH~AmvafBFkLY7FvJ1KR249WMbEuRcrAr bVZkxUHTv7FiL7GYWpC2k0p1OYew

■ブイキューブセミナー（3月）

「コミュニケーションを生み出す組織文化
2026年最新社内イベント活用」「株式会社オカムラに聞
く、「低コスト・人が集まるオフィス」のつくり方」「も
う音漏れに悩まない！個室ブースの防音体験会!!」など多数
会場：オンラインセミナー
詳細・申込：<https://jp.vcube.com/event/all>

国内その他：<http://cnar.jp/cna/event-j.html>

海外その他：<http://cnar.jp/cna/event-r.html>

※イベント情報は随時情報が入り次第掲載しております。
CNAR.jp サイトの情報もご参照ください。

業界の動き

遠隔会議・UC 業界は日々さまざまな動きがあります。
この定期レポートの発行は月2回（プレスリリースと
取材に基づく記事のみ）ですが、CNA レポート・ジャ
パンでは、それ以外の業界の動きに関連した国内外の
情報を日々皆さんと共有しています。皆様の情報収集
のひとつとしてご活用いただければ有難いです。

■フェイスブック（遠隔会議&UC トレンドワッチ）

<https://www.facebook.com/unifiedcom>

■Twitter（CNA レポート・ジャパン）

<https://twitter.com/cnarjapan>

■メーリングリスト（dte-forum）

<http://cnar.jp/cna/dteforum-ml.html>

定期レポートバックナンバー

定期レポートのバックナンバー（1999年～最新号）は
下記で閲覧できます。

<http://www.cnar.jp/cna/cnareportarchive.htm>

■CNAレポート・ジャパン 2026年3月15日号
ホームページ：<https://cnar.jp>
お問い合わせ：inquiry@cnar.jp